

# 看護師プロジェクト 「いのちキラキラ」 のご紹介

東京児童協会 看護師

---



## 「いのちキラキラ」の思いと活動

いじめ・自殺・ドラッグ・SNSなど、子ども達を取り巻く環境には数多くの社会問題が潜んでいます。社会の中で健全に育ち、あらゆる危険を回避する能力は、命の大切さを知り実感することや自分と他者を大切にできる力が基盤になると考えます。

「たった1つしかない命をキラキラと輝かせて生きて行って欲しい」という願いを込め、2015年に本プロジェクトは発足しました。プロジェクト所属の看護師が各園を巡回し、就学に向け、年長児を対象に命や心をテーマにした質の高い健康教育の実施を目指します。

第1弾「いのちのはじまり」では、生命誕生と妊娠経過、体験を通し生まれてくることの素晴らしさや命の尊さを伝えています。



第2弾「あたまのはなし」では、心と体の司令塔となる頭の機能と大切さを伝えています。

## いのちを「まもる」ってどんなこと？

新型コロナウイルス感染症対策として、プロジェクト看護師による各園巡回指導は中止となりました。しかし、コロナ禍だからこそ、子ども達に命について考える機会を持って欲しいと考え、第3弾『いのちをまもる』をテーマに健康教育の内容を構築しました。オリジナルの紙芝居を作成し、各園看護師に実施を依頼して子ども達への健康教育を行います。紙芝居に登場するいのちマンと一人の女の子のやり取りから子ども達自身が命を「まもる」ことについて考えるきっかけを作れたらと思います。



## いのちを「まもる」を考え、 そして実践しよう！！

「誰かを守ったその時に5個目のハートが輝くんだって!どうしたら、誰かを守れるかな？」

新型コロナウイルスの感染拡大により「自分を守ることが他者を守ることに繋がる」という考えが世界中に広がり、みんなで命を守るという意識が広まっています。一方で、自ら命を手放す選択をする方もいます。紙芝居中には「いのちマモルカード」が登場し、命を守る行為を実践する毎にカードにハートが集まる演出になっています。子ども達には1枚ずついのちマモルカードを配布し、自分や他者の命を守るためにできることを一緒に考え実践します。実践できる小さな行為の積み重ねが命を守ることに繋がることを実感してもらえたらと思います。



## 私たちの思い

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちに「命」について考える機会をたくさん与えました。未来ある子ども達こそ、どのように自身の、そして他者の命を守っていくのか考え実践する力を身につけて欲しいと思います。年長児はもうすぐ卒園し小学生になります。辛いことや悲しいことに直面したとき、健康教育を通して感じたことや考えたこと、守ってくれる大人たちのことを少しでも思い出してくれたらと思います。自分に自信を持って「たった1つしかない命をキラキラと輝かせて生きてほしい」と願っています。

